

# 市民ひろば

発行人 市民ひろば編集委員会  
〒411-0858  
三島市中央町3-32 小出ビル3F  
代表 小野 啓一  
電話：055-994-9211  
shimin\_hiroba@ybb.ne.jp  
振替 00870-5-153264

ひろば新聞定期購読者募集  
申し込みは上記連絡先へ  
毎月3000部発行  
年額1000円



書き留めて ⑫ あきの かずこ  
座りこむおいをけちらす警察官ウチナー  
ンチュの寂しいかたち  
辺野古ノ一肩抱き合いしなやかにしなや  
かに踊り花束となる

## 12月16日、三島市長選挙 恥ずかしくない市長の誕生を願う

来月12月16日は三島市長選挙。現在、現職で3選を目指す豊岡武士氏(75歳)、県議から初めて市長に挑戦する宮沢正美氏(69歳)、元浜松市職員で現在コンサルタント会社経営の新人石井真人氏(39歳)の三つ巴選挙となっている。今回は3期目を目指す豊岡市政を問う選挙であり、最大の争点は三島駅南口再開発問題と考えられる。

**現職 新人2候補**  
三つ巴選挙  
豊岡氏は平成22年、3回目の市長選への挑戦で初当選を果たした。その時の得票数は2万3252票、次点の遠藤氏の1万6295票をおよそ7千票引き離している。今回投票率を50%程度と予想すると、勝敗ラインは2万票以上と思われる。現職の強みで豊岡氏は初当選時の2万3千票に届くか?

あの特異な「私を殺してからにして下さい」発言で、かなり要を減らすとの予想がある。その一方で、連合や市議の過半数の支持を固めており、各町内会関係者や一部農協関係にも食い込んでいくとの噂だ。特に元市議の細井要氏や前農協専務理事等の支援を取り付けていると聞く。「問題発言」による失った

つとして掲げてあった。ところが今回の計画ではこれまでJRと協議を続けてきたが折り合いが着かず断念したとのこと。その結果、南北自由通路は今回の計画からすっぱり抜け落ちていく。しかも、



石井真人候補 宮沢正美候補 豊岡武士候補

票の挽回で、背水の陣の必勝体制を敷いているとの声も聞かれる。11月7日の総決起集会は文化会館大ホールに1千名の支持者を集め、豊岡氏は2期8年の実績を訴え、将来の発展のため基礎をつくりたい」と3選に向けて決意表明した。しかし、75歳の高齢者に三島の将来を託せるのかと声もある。

**豊岡市政2期8年の**  
評価と南口再開発問題  
一期目の豊岡市政は、はっきり言って緩み始めた市政と言え、発足当初は「市民、企業、自治会等多様な主体が行政と手を携え、「市民の声にしっかりと耳を傾け」一語になつて課題を解決する」との決意を語り、市政の効率的かつ効果的な運営に努め財政の健全化を推進するとの姿勢を示していた。しかし、この8年を振り返ると、当初の意気込みとは裏腹に市民の声を真摯に聞くこともなく市長の独断専横が顕著になったように思われる。

その代表的な例が三島駅南口の再開発問題だ。とりわけ西街区の土地格差安全問題が、20年

進の中で、市税61億円の投入を計画しながら、市民の声を殆ど聞くことなく業者丸投げの体制で事業を進めようとしている。それ以外にも、補助金や負担金の在り方が、市長の関係する団体には厚く支給される問題が浮き彫りになった。更に、借金である市債残高も、減るどころかジリジリと増加傾向にあり、現状のままの再開発を進めれば、市庁舎の建て替えや、老朽化施設の更新、インフラ整備等で借金残高は大幅に増えることは免れない。

南海トラフ地震が発生したら、日本は壊滅的なダメージを受ける。死者32万人被害220兆円の甚大な被害が予想されている。南海トラフのプレート境界を初めて掘削調査するたけ、地球深部探査船「ちきゅう」が2018年10月10日午前、静岡県清水港を出港した。地球深部探査センター・倉本真一センター長は「世界で初めて人類が初めて巨大地震を発生させる物質を取り出す」と話した。

地震予知の名目で掘削作業している。危険な水域に刺戟を与えている事は「ちきゅう」も認識しているし、現に2018年11月3日の地震は和歌山南部・紀伊水道震源(5.0)で、探掘が影響しているのではないかと一部で噂されている。危険を認知しながら刺戟を与えていることはとても気がかりだ。「ちきゅう」の動きをウォッチしている人びともたくさんいる。「ちきゅう」は海洋研究開発機構(JMARC)の地球深部探査センター(DPCC)の地球深部探査船「ちきゅう」が1975年にアメリカの提案で国際プロジェクトである国際深海掘削計画(IODP)が開発した。これには日本財団も関わっている。本日に「ちきゅう」が地震を起こしているのは不明だが、地震はいつ起きてもおかしくない。これからクルスマス、年末年始と慌ただしい日々が続くが、気を引き締めて準備を怠らないようにしよう。

### 三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

### 三島市単独の迫り方で、広域的視点からのアプローチがなされていかない。近隣市町や県を巻き込み、伊豆の玄関口の再開発事業との位置づけで迫れば資金難で断念することも無く、県や国の補助金も増額されたかも

### 三島市が進める再開発事業は構想から資金計画から殆ど業者丸投げの手法だ。当初より市民の意向

### 三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

### 三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

### 三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

### 三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

### 三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

**裸の王様**  
三島駅前前の寂れた状態は早く建替えないと三島市の衰退のイメージは拭えない。将来の三島市発展の礎を築く事に反対する理由はない。問題はその手法や進め方、現在の計画や構想内容にある。

三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

三島市は伊豆半島の玄関口で、駅前再開発事業は単に三島市だけの問題ではなく、そうした広域的視点を前提として見た方がよい。

### 探査船「ちきゅう」と東南海地震

「ちきゅう」は6ヶ月にわたる調査で巨大地震対策の新たな手がかりを見つけているという。



「ちきゅう」は2019年3月末まで和歌山県沖の熊野灘で、史上最も深い海底5,200メートルまでドリルを掘り進め、岩の採取を試みる。「ちきゅう」は南海トラフのダークレイヤーを認識しており、今まさにそこを南海トラフ

「ちきゅう」は海洋研究開発機構(JMARC)の地球深部探査センター(DPCC)の地球深部探査船「ちきゅう」が1975年にアメリカの提案で国際プロジェクトである国際深海掘削計画(IODP)が開発した。これには日本財団も関わっている。本日に「ちきゅう」が地震を起こしているのは不明だが、地震はいつ起きてもおかしくない。これからクルスマス、年末年始と慌ただしい日々が続くが、気を引き締めて準備を怠らないようにしよう。

「ちきゅう」は海洋研究開発機構(JMARC)の地球深部探査センター(DPCC)の地球深部探査船「ちきゅう」が1975年にアメリカの提案で国際プロジェクトである国際深海掘削計画(IODP)が開発した。これには日本財団も関わっている。本日に「ちきゅう」が地震を起こしているのは不明だが、地震はいつ起きてもおかしくない。これからクルスマス、年末年始と慌ただしい日々が続くが、気を引き締めて準備を怠らないようにしよう。

「ちきゅう」は海洋研究開発機構(JMARC)の地球深部探査センター(DPCC)の地球深部探査船「ちきゅう」が1975年にアメリカの提案で国際プロジェクトである国際深海掘削計画(IODP)が開発した。これには日本財団も関わっている。本日に「ちきゅう」が地震を起こしているのは不明だが、地震はいつ起きてもおかしくない。これからクルスマス、年末年始と慌ただしい日々が続くが、気を引き締めて準備を怠らないようにしよう。

**NOUCA 古民家 カフェ**  
風工房の 藍染とステンドグラス展  
11月7日~1月7日まで開催  
自家焙煎珈琲 ゲストハウス&カフェ  
電話・FAX 055-950-9289  
毎週金曜 定休  
営業時間 9:00~18:00  
ランチタイム 11:30~14:00  
伊豆の国市奈古谷 1048-1

**沼津市のオアシス 和風カフェ&ギャラリー ねこや**  
沼津市千本港町77-4 沼津みなとアートビル  
TEL.055-943-5541  
営業時間 10:30~17:30 休み:水曜・木曜  
・ギャラリー展示・  
11/16(金)~12/23(金)  
あなたのまわりは アートがいっぱい???

**文盛堂書店**  
定期購読の雑誌等、配達承ります  
営業時間 9:30~19:00  
住所 三島市中央町2-37 (中央町商店街)  
電話 055-975-4229 FAX 055-972-3319  
定休日 元旦  
http://www.e-hon.ne.jp/bec/SHOP52033

長い歴史に培われた確かな目 人生の節目に、信頼の置ける  
**時計・宝飾・メガネ 小坂**  
時計の修理、電池交換はもちろん お手持ちの宝石のリフォームなど ぜひお気軽にご相談下さい  
三島市本町 8-1 055-975-1345

**慈眼堂 赤ひげのはりときゅう**  
腰・肩・膝の「いたみ」どり 3回無料  
認知症・糖尿病・ガンは 食事改善で 予防することが可能です  
ご希望の方はお申し込み下さい  
【治療時間】9:00~18:00  
【休日】木・日  
【住所】三島市谷田 173-13-101  
【TEL・FAX】055-976-8765